

京都府海洋調査船「平安丸」 第1種中間検査仕様書

(令和7年度)

京都府水産事務所

第一章 一般

船体

- 1 この整備は、船舶安全法その他関係法令に基づいて施工し、船舶安全法に規定する第1種中間検査及び無線機器の船舶検査、電波法に規定する定期検査に合格すること。
- 2 この整備の施工に際しては、丁寧に行うこと。また、原則通常勤務内に終了すること。
- 3 乾ドック又は浮きドックによる入渠を行うこと。
- 4 本整備は発注者が指名する監督員の指示に従い、疑義が生じたときは速やかに監督員と協議のうえ施工すること。
- 5 各整備について、施工前、施工中、施工後の写真(デジタル)撮影を行い2部提出すること。
なお、撮影年月日及び説明付のものとする。また取替部品については、新旧が分かるように撮影すること。
- 6 整備にあたり撤去及び廃棄するものについては、監督員の指示により処理すること。
- 7 始業時に当日の作業内容がわかる資料を提出すること。
- 8 請負業者は、工程表を提出し、その承認を受けること。
- 9 整備期間中、請負業者は本船の必要とする電力及び飲料水を供給し、岸壁離接時は、曳船等により援助するものとする。
- 10 整備期間中における本船の保安及び災害防止並びに安全管理については、請負業者がその責めに任ずるものとし、船体、機関、無線、その他の機器類を損傷せしめた場合は、請負者の負担において修復すること。
- 11 解放部のOリング、各パッキン類、ガスケット、割ピン、廻り止めワッシャー等は新替すること。
- 12 機関部整備全般の交換部品及び機器類は、本船支給とある物以外は、全て整備請負業者の支給とすること。
- 13 請負業者は、船体回航に伴う往復燃料を負担すること。
※速力13ノット/h、燃料(A重油)消費量220L/hで計算
- 14 試運転
下記項目の内容については監督員と協議のうえ決定すること。
 - (1) 係留試運転。
 - (2) 海上公試運転。
 - (3) 速力及び舵角試験。
- 15 検査関係手続
第1種中間検査に関連する手続き一切を代行すること。
- 16 第1種中間検査準備
船舶安全法施行規則及び第1種中間検査等の準備を定める告示による検査準備をすること。
- 17 契約期間によらず、第1種中間検査及び整備期間は30日以内とすること。
- 18 整備については、建造後の保証整備の対象となる場合があるので、監督職員と協議のうえ施工にあたること
- 19 この整備の期間中に必要な監督職員2名と、本船作業員の宿泊費を負担すること。

第二章 船体部仕様

1 入出渠及び滞架料

総トン数	全長	幅	深さ
191トン	43. 14m	7. 50m	3. 20m

※ 超音波機器、船底集合タンク等、船底突出機器に注意を要する。

※ 船体の移動、離接岸作業は、すべて造船所にて行うこと。

2 塗装作業等(別紙1塗装要領及び塗装面積表参照)塗料は中国塗料(株)を指定

(1) 船底外板及び船側外板、並びにシーチェストの清水洗浄

項目	仕様	範囲
清水洗浄	高圧清水洗い	船底外板430㎡ 船側外板296㎡

※ 船底外板には、ビルジキール、舵、ソナードーム、シーチェスト等を含む。

※ 船側外板にはホースパイプ、マストハウス側面及びギャロス側面並びに後部を含む。

※ 船体洗浄後、ソナードーム等のパテ詰め部分の脱落がある場合はパテ詰めを行うこと。

(2) 船底外板及び水線部の塗膜剥離発錆部錆落とし及び塗装仕上げ

項目	仕様	範囲
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	船底外板430㎡
塗装	A/C(バンノー500) オールオーバー1回	船底外板430㎡
	A/C(CMP AC EP) オールオーバー1回	船底外板430㎡
	A/F(シーグランプリ2200) オールオーバー2回	船底外板430㎡

※ 船底外板には、ビルジキール、舵、ホースパイプ、ソナードーム、シーチェスト等を含む。

※ メインスクリュー、船首尾スラストスクリューは磨き後、ペラクリーンを塗装。

(3) 船側外板及びブルワーク外面、マストハウス、ギャロスの塗膜剥離発錆部錆落とし及び塗装仕上げ

項目	仕様	範囲
清水洗浄	高圧清水洗い	
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	
塗装	A/C(バンノー500) タッチアップ1回	296㎡
	錆止(CMP AC EP)タッチアップ1回	
	上塗(アクリ800白色)タッチアップ1回	
	上塗(アクリ800白色)オールオーバー1回	

(4) 上甲板及び長船首楼甲板、ブルワーク内側の水洗い及び塗膜剥離発錆部錆落とし後塗装仕上げ

項目	仕様	範囲
清水洗浄	高圧清水洗い	
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	
塗装	錆止(バンノー200)タッチアップ2回	112㎡
	上塗(アクリ800原色塗装)	
	オールオーバー1回	

(5) 操舵室頂部、ドライ研究室頂部、ウインチ操作室頂部

清水洗浄	高圧清水洗い	
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	
塗装	アルミ用プライマー(ALP500)タッチアップ1回	46.3㎡
	A/C(バンノー500)タッチアップ1回	
	上塗(サーモシャダン中塗りAR MS)オールオーバー1回	
	上塗(サーモシャダンAR MS)オールオーバー1回	

(6) 操舵室、甲板室

清水洗浄	高圧清水洗い	
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	
塗装	アルミ用プライマー(ALP500)タッチアップ1回	221㎡
	A/C(バンノー500)タッチアップ1回	
	上塗(アクリ800)	
	オールオーバー2回	

(7) 煙突耐熱塗装箇所内面

塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	
塗装	耐熱塗料用下塗(オキツモ製903耐熱400℃)タッチアップ1回	28.9㎡
	上塗耐熱塗料(オキツモ製305耐熱300℃)	
	オールオーバー1回	

(8) 煙突外面

清水洗浄	高圧清水洗い	
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	
塗装	SUS用プライマー(エピコンS-100)タッチアップ1回	28.9㎡
	A/C(バンノー500)タッチアップ1回	
	上塗(アクリ800)	
	オールオーバー2回	

(9) 船名、船籍港、府章、乾舷マーク、喫水マーク及び安全マーク等の表示

(10) 錨鎖庫内の塗膜剥離発錆部錆落とし及び塗装仕上げ

項目	仕様	範囲
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	10㎡
塗装	バンノー500(黒色)オールオーバー1回	24㎡

(11) 船底部の亜鉛板交換(計54枚)

取付場所	材質・タイプ・寸法(mm)	数量(枚)
舵板	防食アルミニウム CA-9C 150×300×30	6
外板部	防食アルミニウム CA-8B 100×200×30	44
ビルジキール		
船尾部		
シーチェスト		
スラスター本体及びトンネル		
メインプロペラ軸ロープガード内	防食亜鉛 CZ-7A-1/2 17.5×70×75	4

※ 交換後、取り付けナット頭部はパテ詰めをすること。

(12) 機関室、主機関、補機関及びポンプ、配管等の塗装仕上げ

項目	仕様	範囲
塗 装	エバマリン(白色) タッチアップ1回	10㎡
	エバマリン(グリーン 2.5G4/5) タッチアップ1回	10㎡
	エバマリン(機械色 7.5BG7/2) タッチアップ1回	20㎡

3 第1種中間検査(第1回/R7年)

(1) 検査受検申請手続き、整備並びに受検立合い(手数料含む)

(2) 受検に係る足場の組立及び解体

(3) 錨及び錨鎖受検、塗装仕上げ

錨	420kg×2個	錨鎖	22mm 300m(12連)
項目	仕様		範囲
塗装	錆止(バンノー500)オールオーバー1回		錨 1㎡×2個
	上塗(アクリ800黒色)オールオーバー1回		

(4) 舵受検

- 1) 舵軸間隙計測(計測表作成)
- 2) 作動確認

(5) 水密扉(1カ所)及び水密ハッチ(4カ所)開閉試験(パッキン交換は含まず)

(6) 外観検査、開閉試験(パッキン取替は含まず)

- 1) 暴露した倉庫の閉鎖装置(2カ所)
- 2) 機関室囲壁等の閉鎖装置(2カ所)
- 3) 機関室天井メンテナンスハッチ
- 4) 軸流通風筒の閉鎖装置(4カ所)
- 5) 暴露した甲板上の空気管の閉鎖装置(24カ所)
- 6) ブルワークの放水口(10カ所)
- 7) 舷窓(7カ所)
- 8) 風雨密扉(10カ所)、フラッシュ扉(1カ所)

(7) 排水設備受検一式

- 1) ビルジ吸引テスト後、清掃
- 2) 船外に通じる船外弁22個(含波止弁)、船底弁8個の取外し整備復旧
(全て取り外し船外で整備、不良品交換)

弁取付場所	弁数量	内、波止弁数量
倉内倉庫(最下層)	4	2
艀室内	2	2
甲板長倉庫	1	0
舵機室	1	0
パウスラスター室	2	1
機関室内	12	4
機関室内(船底弁)	8	0

- 3) 波止弁(検定品SVⅡ-FCD-A-RMH-50)3個支給

(8) 法定備品受検一式

- 1) 2年後検査までに期限の切れるものについては交換[別紙3参照]

(9) 救命設備受検一式 (不良品、有効期限切れ品の交換)

- 1) 膨張式救命筏(FRN-SV-20型)について、サービスステーションによる点検整備(整備記録作成)
- 2) レーダトランスポンダ、持運式双方向無線、衛星系非常用位置指示器については運輸局の指示する書類提出

(10) 効力テスト

- 1) 航海灯点灯及びアラームテスト
- 2) 操舵機作動確認(通常及び非常)
- 3) 火災警報装置作動テスト
- 4) 全過負荷アラームテスト
- 5) 汽笛吹鳴テスト
- 6) レーダー作動確認
- 7) 消火ホースによる射水テスト

(11) 清水タンク(船首1、船尾2)内の塗膜剥離発錆部錆落とし及び塗装仕上げ後復旧、水質検査受検(成績表提出)

項目	仕様	範囲
塗膜不良部手入れ	ディスクサンダーにより発錆部は入念な錆落としをすること	5㎡
塗装	クリーンキープ塗装 タッチアップ	

※ 復旧には、各タンク殺菌、灰汁抜き、清水計25トンを積み込む。

(12) 機関室、居住区域等の内検及び燃料タンク(6カ所)の内検(清掃を含む)

(13) 満載喫水線表示の確認検査

(14) 絶縁抵抗測定(成績表作成)

(15) 消防設備受検一式(期限切れについては交換)

(16) その他運輸局より指定された検査

4 一般整備

- (1) トロールウィンチの油圧ホース(PA1408-1005-600L、PA1406-1005-600L各1本)支給
- (2) デッキクレーンの油圧ホース各1本支給(別紙4参照)
- (3) CTDウィンチ点検整備[鶴見精機(株)]
(船上で可能なメーカーの推奨する消耗部品交換、ケーブルのCTD水中測定器側末端処理)
- (4) 観測ウィンチ点検整備[鶴見精機(株)]
(船上で可能なメーカーの推奨する消耗部品交換、オイル交換を含む)
(出光 ダフニーハイドロ46A 工場支給 作動油タンク120L)
- (5) スキャニングソナー(CSH-8L Mark-2)消耗部品の交換を含むメーカーの指定する整備
(メーカーが指定する塗料による塗装を含む)
(亜鉛板については工場支給)
- (6) 船尾鳥居マスト吊り下げの中広滑車2個(NG-1501)及び適応シャックル(SB28)の交換
[別紙2参照]
- (7) 甲板及び船内指定箇所の養生
- (8) 船員法施行規則第五十三条第一項に掲げる三種衛生用品の支給
- (9) AED(AED-3100)の電極パッド(一組)の交換

第三章 機関部中間検査仕様書項目

整備概要

- 1 機関整備においては、各指定メーカー技術員又は船舶機関整備士が施行し、取替部品は造船所所掌とする。
- 2 解放整備での部品新替の際、新旧部品について分かりやすいように陳列した写真を各2部ずつ提出すること。
取替部品は純正部品（JG規格）使用のこと。
- 3 各成績表及び各計測表を3部ずつ提出すること。
- 4 陸揚げ機器整備は清潔な屋内で実施し、交換部品を含め屋内にて保管管理する。
- 5 解放整備復旧時における各種パッキン、Oリング、各種シール、座金、割ピン等は全て取替とする。
整備時は白ウエスを使用し、整備全般には付帯整備を含むこととする。
- 6 水圧、空圧等の耐圧漏洩試験及び作動確認試験を行うときは、機関部乗組員の立ち会いの下実施し、
各種タンク清掃後においても機関部乗組員の点検後、復旧すること。
- 7 各機器試運転及び効力、海上公試運転においては、各機関、機器技術員が立ち会い乗船し確認すること。
- 8 機関室からの廃油、ビルジ、ゴミ等は全て陸揚げ処理し、清掃に心がける。
- 9 海上公試運転の日時、運転時間、負荷率その他詳細項目については、監督員と協議し決定すること。
- 10 整備を行った主機関、補機関、各種ポンプ、電動機及び主要配管は、錆落としの後塗装すること。
- 11 整備完了引き渡し前に、機関室内及び整備場所の船底、プレート等の清掃を十分におこない機関部
乗組員の了解を得ること。
- 12 本船担当造船所職員は、作業予定表及び作業日報を当日作業前に提出すること。

1 主機関解放掃除受検復旧試運転(ヤンマー 型式6EY22AW 1,330KW・900rpm 機番0553) 一式

- (1) シリンダカバー解放、ピストン抜き出し、陸揚げ、清掃受検後、組立復旧
 - 1) ガスケットパッキン取替
 - 2) 冷却水Oリング取替
 - 3) ヘッドケースパッキン等取替
 - 4) プロテクションリング取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
- (2) クランクシャフト解放、メインメタル、ピンメタル共に受検後復旧
 - 1) ロッドのセレーション検査
 - 2) ドアパッキン取替
 - 3) クランクピンボルト取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
- (3) エアモーター解放、清掃受検後、組立復旧
- (4) ピストンピン、ヘッド解放、清掃後受検
 - 1) ピストンリング、オイルリング、コイルエキスパンダ取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
座金、Oリング全数取替
- (5) サンプタンク、クランク室内の潤滑油抜き出し、清掃後新油張り込み復旧
(出光ダフニーSX40) 主機関3,400L+減速機150L+増速機22L+発電機関180L 計:3,752L
内、800L(本船より支給)
- (6) クランクデフレクションの解放前及び組み立て後計測。各主要部計測記録提出(3部)
 - 1) シリンダーライナー内径
 - 2) ピストン
 - 3) 軸受け
 - 4) ポンプ
- (7) 吸排気弁24本 清掃後受検。
 - 1) 削正摺り合わせ、組み立て後調整復旧
 - 2) 各パッキン等取替
 - 3) 吸排気弁シートリング計測、摩耗品交換(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
- (8) 燃料噴射ポンプ解放、清掃、組立復旧後耐圧試験、油量調整。
 - 1) ブランジャー、バレル、等圧弁、プロテクター、スプリング各種、銅パッキン等の取替
(ポンプ専門メーカー整備とする)
- (9) 燃料噴射弁ノズルチップの取替(6個)、Oリング各種取替、圧力調整、組立復旧
- (10) 過給器(ABB A135-M65 シリアル609702)の解放、清掃後受検
 - 1) ケースの肉厚計測、組立復旧、計測記録提出(3部)
 - 2) ベアリング(T側、B側)、ガスシール、オイルシール、各種ボルト、
ガスケットパッキン、油きり、フィルター等の取替
- (11) 空気冷却器の解放、清掃後受検
 - 1) ジャケット防錆塗装
 - 2) 圧力検査後組立復旧

- (12) 機付冷却水ポンプの解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) インペラ取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) ボールベアリング、メカニカルシール、オイルシール、スリーブの取替
 - 3) シール部は必要に応じ溶射
- (13) 機付潤滑油ポンプ解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) ベアリング、シール取替、シール部は必要に応じて溶射
- (14) 機付燃料供給ポンプ解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) ベアリング、シール取替、シール部は必要に応じて溶射
- (15) 主機関予備潤滑油ポンプ(浪速ポンプ ALG-80)の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) シール取替、ベアリング取替(モーター側を含む)
シール部は必要に応じて溶射
- (16) 減速機予備作動油ポンプ(浪速ポンプ ALGT-50H)の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) シール取替、ベアリング取替(モーター側を含む)
シール部は必要に応じて溶射
- (17) 潤滑油冷却器の解放、清掃、ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧
 - 1) Oリング取替
- (18) 清水冷却器の解放、清掃、ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧
 - 1) Oリング取替
- (19) 増速機(日立ニコトランスミッション SGC56M-47B)、潤滑油冷却器の解放、清掃、ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧
 - 1) 潤滑油(出光ダフニーSX40)の入れ替え。(潤滑油数量は、1の(5)に含む)
 - 2) フィルター清掃
- (20) 減速機(ヤンマー YXH-2000M 製造番号 000011)の解放、各部点検調整、清掃後受検、組立復旧
 - 1) のぞき孔開放受検復旧
 - 2) フィルター掃除、潤滑油(出光ダフニーSX40)入れ替え。(潤滑油数量は、1の(5)に含む)
 - 3) 減速機潤滑油冷却器の解放、清掃、ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧
- (21) 各冷却器 保護亜鉛交換
- (22) 遠隔操縦装置、警報各部の点検。効力試験受検
- (23) 海上運転施工。最高圧力、排気温度計測及び調整(軸受温度計測:主軸受、クランクピン軸受、ピストンピン軸受)

2 軸系装置

推進翼（かもめ CPR-65AVCN-1）製造番号CP5390

- (1) CPP遠隔操作翼角調整
 - 1) リミットスイッチ及び、翼角指示器コマの取替、調整
 - 2) 可変ピッチの翼角ゼロ点調整
 - 3) 推進翼のカラーチェック
- (2) 予備CPP変節油ポンプ（かもめ GSP2-A0S16AL-A0）解放、清掃、受検後組立復旧
 - 1) ベアリング、シール交換
- (3) 遠隔操縦装置の点検、整備。（翼角中立 -0.8 度）（かもめ）
- (4) 船尾管軸封装置（スタンキーパー SKC-252）の固定リング外し、両面削正、ノックピン交換
 - 1) 回転摺動リング、Oリング、バンド、防食プラグ（2個）各交換、防食塗装後組立復旧
- (5) 船尾管ゴム軸受け間隙計測記録の提出（3部）（ガードリング取り外しを含む）
- (6) 軸馬力計（ハマヤシステム）の点検調整

3 発電機関 2台

ヤンマーディーゼル 型式 6HAL2-WHT 217ps/1200rpm 機関番号 9028/9029

- (1) シリンダーカバー解放及びピストン抜き出し、陸揚げ、清掃、受検後積込、組立復旧
 - 1) ガスケットパッキン、冷却水ゴムパッキン、ヘッドケースパッキン、銅パッキンの取替
- (2) シリンダーライナーの抜き出し、陸揚げ、清掃後受検復旧
 - 1) 銅パッキン、Oリングの取替
- (3) クランクシャフト解放、メインメタル、ピンメタル共に受検後復旧
 - 1) パッキン、メインメタル、ピンメタル、スラストメタル交換（不良品のみ交換、交換部品については本船より支給）
 - 2) クランクピンボルト全数取替（不良品のみ交換、交換部品については本船より支給）
- (4) ピストンピン、ヘッド解放、清掃後受検復旧
 - 1) ピストンリング、オイルリング取替（不良品のみ交換、交換部品については本船より支給）
 - 2) 座金、Oリング全数取替
- (5) クランクデフレクションの解放前及び組立後計測
 - 1) 各主要部計測記録提出。（3部）
- (6) クランク室内の潤滑油抜き出し、清掃後新油（出光ダフニーSX40）張り込み復旧（潤滑油数量は、1の（5）に含む）
- (7) 吸排気弁の解放、清掃後受検、削正摺り合わせ、組立、調整復旧（不良品のみ交換、交換部品については本船より支給）
 - 1) Oリング、パッキンの取替
- (8) 吸排気弁シートリング計測、摩耗品交換（不良品のみ交換、交換部品については本船より支給）
- (9) 吸排気バルブガイド交換（不良品のみ交換、交換部品については本船より支給）
- (10) 過給器の解放、清掃後受検。ケース肉厚計測、組立復旧
- (11) 空気冷却器の解放、清掃後受検。ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧

- (12) 機付冷却水ポンプ(高温側及び低温側)の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) インペラ取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) ボールベアリング、メカニカルシール、オイルシールの取替、シール部は必要に応じて溶射
- (13) 機付潤滑油ポンプの解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) ベアリング、シール取替、シール部は必要に応じて溶射
- (14) 潤滑油冷却器の解放、清掃、ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧
 - 1) パッキン、Ｏリングの取替
- (15) 各フィルター等支給
 - 1) 燃料フィルター(1個×4)、潤滑油フィルター(2個×4)、油水分離フィルター(1個×4)
 - 2) 油水分離器 ガasket、Ｏリング各4
- (16) 燃料ポンプ解放、清掃、組立復旧後耐圧試験、油量調整(ポンプ専門メーカーの整備とする)
 - 1) ブラジャー、バレル、吐出弁、スプリング各種、銅パッキンの取替
- (17) 燃料噴射弁ノズルチップの取替、Ｏリング各種取替、圧力調整組立復旧
- (18) 清水冷却器の解放、清掃、ジャケット防錆塗装、圧力検査後組立復旧
 - 1) Ｏリングの取替
- (19) 確認運転、負荷テスト(船内負荷)

4 補助機械

- (1) 空気圧縮機(SANWA 圧縮機 S10A 電動機)1号機の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) 各高低圧弁(完備品)、Vベルト(ファン駆動用、圧縮機駆動用)
各高低圧ピストンリング(完備品)、Oリング、パッキン、電動機のベアリング取替
 - 2) 潤滑油交換(ダフニースーパーマリンコンプレッサー100 6.2リットル 工場支給)
- (2) 空気圧縮機(SANWA 圧縮機 S8A 電動機)2号機の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) 各高低圧弁(完備品)、Vベルト(ファン駆動用、圧縮機駆動用)
各高低圧ピストンリング(完備品)、Oリング、パッキン、電動機のベアリング取替
 - 2) 潤滑油交換(ダフニースーパーマリンコンプレッサー100 6.2リットル 工場支給)
- (3) 雑用水兼消防ポンプ(浪速ポンプ SHR-100)の解放、清掃後受検、組立復旧、放水検査
 - 1) インペラ、マウスリング取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) メカニカルシール、ベアリングの取替(モーター側を含む)、シール部は必要に応じて溶射
- (4) 独立ビルジポンプ(浪速ポンプ SHR-65)の解放、清掃後受検、組立復旧、吸引検査
 - 1) インペラ、マウスリング取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) メカニカルシール、ベアリングの取替(モーター側を含む)、シール部は必要に応じて溶射
- (5) 燃料サービスポンプ(浪速ポンプ ALG-32N)の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) シール、ベアリングの取替(モーター側を含む)、シール部は必要に応じて溶射
- (6) サニタリーポンプ(浪速ポンプ BHD-40)の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) インペラ、マウスリング取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) メカニカルシール、ベアリングの取替(モーター側を含む)、シール部は必要に応じて溶射
- (7) セントラルクーラーの薬品洗浄(笹倉サービスセンター RX-185B-NPM-99 2台)
- (8) 防食用亜鉛棒各6本支給。(φ35 L=300mm、φ55 L=300mm)
- (9) セントラルクーラー用冷却清水ポンプ(浪速ポンプ CRD-100)2台の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) インペラ、マウスリング取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) メカニカルシール、ベアリングの取替(モーター側を含む)、シール部は必要に応じて溶射
- (10) セントラルクーラー用冷却海水ポンプ(浪速ポンプ CRD-100)2台の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) インペラ、マウスリング取替(不良品のみ交換、交換部品については本船より支給)
 - 2) メカニカルシール、ベアリングの取替(モーター側を含む)、シール部は必要に応じて溶射
- (11) 油水分離器(大晃機械工業 USH-03)の解放、清掃後受検、組立復旧
 - 1) コアレッサーの交換、通水テスト

5 一般整備

- (1) 清水冷却系統 防錆剤支給(ヤンマーロイヤルキャピラストン約100リットル、ロイヤルフリーズ約40リットル)
- (2) 船底ビルジ(2回)、スラッジタンク内の廃油抜き出し処理及び処理証明書の提出、整備終了後、船底及び機関室内の清掃
 - 1) 証明書は、1の(5)及び3の(6)、5の(7)、5の(8)を含む
 - 2) 船体部 4の(4) 観測ウインチを含む
- (3) 機関解放のためのメンテナンスハッチ取り外し等の付帯整備
- (4) 主配電盤、機関監視盤、データロガー(JRCS)の各点検要目による点検整備
(専門メーカーによる整備とする)
- (5) 潤滑油清浄装置(アメロイド HC50E-81AS/G-Ⅲ、ファインフィルタ 27/81A)の予備品支給(2式)
 - 1) CJCフィルタ(濾過精度 1 μ m)、トップナットOリング(P-40)、スリーブOリング(P-28)、カバーパッキン
 - 2) 遠心分離用モーターのベアリング、Vベルト
- (6) 燃料油清浄装置(アメロイド AJN-750C、ROTフィルタ ROT-EF-5AS-B)の予備品支給(2式)
 - 1) フィルタ(濾過精度 5 μ m)、Oリング(P-340)、シールパッキン(P-25.5)
 - 2) 水分分離槽Oリング(V-380)
- (7) 第3系統 油圧作動油 抜き出し後新油張り込み
(出光 ダフニースーパーハイドロ46A 工場支給) 作動油タンク 400L
- (8) 第4系統 油圧作動油 抜き出し後新油張り込み
(出光 ダフニースーパーハイドロ46A 工場支給) 作動油タンク 200L
- (9) 油圧作動油 支給
 - 1) 出光 ダフニースーパーハイドロ46A 40L

第四章 無線部仕様

無線局定期検査関係設備

1. 無線局定期検査(登録検査等事業者制度)受検整備。

京都府海洋調査船「平安丸」の船舶局(32F10045)の、電波法 第73条第1項及び電波法施行規則第41条の3規定に基づき、令和7年度無線局定期検査の受検に係る当該登録点検の実施並びに、無線設備等の点検実施報告書及び点検結果通知書を作成し、総合通信局長あての提出をもって、同検査合格に至るまでの一切の手続きをなすこと。

2. 船舶検査(国土交通省)受検に伴うGMDSS関連機器の提出用整備記録及び、試験成績表の作成。

船舶検査(国土交通省)受検に伴うGMDSS関連機器については、各整備実施規定に基づく性能試験を実施し、船舶検査受検時提出用の整備記録並びに試験成績表を作成の上、別途本船に提出すること。

I 無線局定期検査「総務省」及び「国土交通省」

1. 検査受検申請手続き、受検立合い(手数料及び諸経費を含む)

2. GMDSS関係設備(古野電気株式会社)

①MF/HF無線設備(FS-2575)	1台
②デジタル選択呼出専用受信機(MF/HF無線設備に内蔵)[DSR]	-
③デジタル選択呼出装置(MF/HF無線設備に内蔵)[DSC]	-
④国際VHF無線電話装置(FM-8900S)	1台
⑤デジタル選択呼出専用受信機(国際VHF無線電話装置に内蔵)[DSR]	-
⑥デジタル選択呼出装置(国際VHF無線電話装置に内蔵)[DSC]	-
⑦双方向無線電話装置(HT649)	2台
⑧衛星EPIRB(TEB-700)	1台
⑨レーダートランスポンダ(TBR-610)	1台
⑩ナブテックス受信機(NX-800A)	1台

3. 一般通信設備(古野電気株式会社)

①27MHz 1W DSB送受信機(DR-100)	1台
②航海用レーダー(FAR-2228)	2台
③「日本海上関係無線局局名録」改定版	1冊
④簡易型船舶自動識別装置(FA-60)[AIS]	1台
⑤GPS航法装置(GP-39)	2台

II 一般

1. 衛星EPIRBの自動離脱装置(TEB-701)1個を新替

2. レーダートランスポンダ電池(SAB-300)1個を新替

その他

- ・整備記録表は、①検査受検・提出用(正1部)、②京都府水産事務所(副1部)、③船舶局控(副1部)計3部提出とする。
- ・各機器は、開放後入念に清掃し不良品の発見に努めること。また、機器の異常を発見したときは速やかに技術者を派遣し、調査及び修理を行うこと。
- ・保守作業中機器等に汚損・損傷等を与えた場合は、速やかに発注者に連絡するとともに請負業者の責任において、原状に復旧すること。

- 1, 本船の塗装整備は、本仕様書に定めるところに従って施行する。なお、この基準に規定しないことに関しては、塗料メーカーの推奨及び一般船舶に準じて施行する。
- 2, 特に指定するもの以外、塗料は中国塗料製とする
- 3, 強風、その他の理由で、塗装面にゴミが付着するおそれがあるときは塗装を行わない。
- 4, 降雨の際には屋外での塗装は行わない。
- 5, ゴムパッキンその他の油脂分の付着をきらう箇所及び滑動部等には、塗装が付着しないように注意する。

使用塗料(中国塗料指定)

(船底部)

バンノー500、CMP ACE EP、シーグランプリ2200

(船側外板及びブルワーク外面)

バンノー500、CMP ACE EP、アクリ800白

(操舵室頂部、ドライ研究室頂部、ウインチ操作室頂部)アルミ製

ALP500、バンノー500、サーモシャダン中塗りAR MS白、サーモシャダンAR MS緑

(操舵室外壁、甲板室、レーダーマスト)アルミ製

ALP500、バンノー200、アクリ800上塗白

(後部マストガントリー)鋼製

バンノー200、アクリ800白

(上甲板、長船首楼甲板、船橋甲板)鋼製

バンノー200、アクリ800(ノンスリップ)グリーン(2. 5G4/5)

(ブルーワーク内面、各機器類)鋼製

バンノー200、アクリ800上塗機械色

(煙突内面)オキツモ製耐熱塗料使用

オキツモ製903グレー(耐熱400°)、オキツモ製305(耐熱300°)

(煙突外面)

エピコンS-100プライマー、バンノー200、アクリ800白黒

(錨鎖庫)

バンノー500

(清水タンク)

クリンキープ5000

(府章)

アクリ800 10P3. 7/15(本船支給)

(機関室天井、壁、外板部)

バンノー200、エバマリン

(錨)

バンノー500、アクリ800黒

別紙1-2

「平安丸」塗装面積

1 外板関係

船側外板 296. 0m²

船底部 430. 0m²

2 上部構造

外壁 387m²

操舵室、甲板室 209. 6m²

ウインチ操作室 11. 4m²

煙突 57. 8m²

3 暴露甲板

遮熱塗装箇所 46. 3m²

上甲板ノンスリップ塗装箇所 51. 9m²

木甲板 189. 9m²

ブルーワーク内面 60. 1m²

漁労用滑車

一般用幅広ブロック



使用荷重 (ton)	NG-規格	ローラー(径×幅) (mm) × (mm)	耐力 (ton)	自重 (kg)	適応シャックル
3.0	NG-1500	145×75	25.0	16	SB24
3.0	NG-1512改	150×100	30.0	23	SB28
5.0	NG-1501	150×140	30.0	26	SB28
7.0	NG-1502	175×140	39.0	38	SB34
10.0	NG-1503	240×170	53.0	84	SB40

別紙3	期限
法定備品	
自己発煙信号	2026年 2月
落下傘付信号	2026年 2月
火せん	2026年 2月
消防設備	
持運式泡消火器	
持運式粉末消火器	
持運式炭酸ガス消火器	

LIFE SAVING PLAN		
SYMBOL	N A M E	NO.
	INFLATABLE LIFE RAFT 救命筏 (20人用)	1
	LIFE BOUY 救命浮環	2
	LIFE BOUY WITH 30m LIFE LINE 30m救命索付救命浮環	2
	LIFE JACKET 図形式救命胴衣 (救命胴衣灯付)	18
	ROCKET SIGNAL 火 箭	2
	PARACHUTE SIGNAL 落下傘付信号	4
	SMOKE SIGNAL 自己発煙信号灯	2
	SELF-IGNITING LIGHT 自己点火灯	2
	SATELLITE EPIRB 衛星系非常用位置指示無線機 (EPIRB)	1
	SEARCH & RESCUE RADAR TRANSPONDER レーダトランスポンダ (SART)	1
	TWO WAY VHF RADIO TELEPHONE 双方向VHF無線電話	2
	ESCAPE ROUTE 脱出経路	
FIRE FIGHTING PLAN		
SYMBOL	N A M E	NO.
	FOAM FIRE EXTINGUISHER(9 Ltrs) 9 L 持ち運び式泡消火器	3
	DRY CHEMICAL FIRE EXTINGUISHER (5kg) 5.0 Kg 持ち運び式粉末消火器	9
	CO2 FIRE EXTINGUISHER (7kg) 6.8Kg 持ち運び式炭酸ガス消火器	2
	FIRE &BILGE PUMP 消防兼ビルジポンプ	1
	FIRE HOSE LOCKER WITH 40A x 20m HOSE & 13mm JET,FOG NOZZLE 消火ホース巻掛ロッカー (40Ax20m) 消火ホース。40A 可変噴霧ノズル	3
	FIRE HOSE LOCKER WITH 40A x 15m HOSE & 13mm JET,FOG NOZZLE 消火ホース巻掛ロッカー (40Ax15m) 消火ホース。40A 可変噴霧ノズル	2
	40A FIRE HYDRANT 40A 海水消火装置用消火栓	5
	FIRE ALARM CONTROL PANEL 火災警知制御盤	1
	SMOKE DETECTOR 煙式火災検知器	26
	THERMAL DETECTOR 熱式火災検知器	6
	MANUAL CALL POINT 手動発信器	11

別紙4

デッキクレーン用油圧ホース

メーカー	型式	長さ(mm)
ヨコハマ	NWP210-12-21MPa AI-10	750
ヨコハマ	NWP210-12-21MPa AI-10	1400
ヨコハマ	NWP210-9-21MPa AF-05	1400
ヨコハマ	NWP70-6-7MPa AG23	1100
ブリジストン	OK EXCEL ϕ 12 1.5MPa	600
ブリジストン	PASCALART 2104	900
ブリジストン	PASCALART 2104	500
ブリジストン	PASCALART 2106	600
ブリジストン	PASCALART 2106	2300
ブリジストン	PASCALART 2106	2600
ブリジストン	PASCALART 2106	700
ブリジストン	PASCALART 2108	2200
ブリジストン	PASCALART 2108	700
ブリジストン	PASCALART 2112	300